

(特別支援学校の部) 20 岐阜県立揖斐特別支援学校

学 校 名	岐阜県立揖斐特別支援学校 (校長 多和田 浩一)
活動の種類・単位	健康安全・全校
教育課程上の位置付け	特別活動 その他 (生活単元学習)

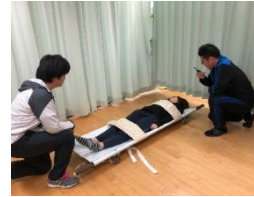
1 活動テーマ

- A 防災教育を通して、「自分の身は自分で守る」という意識を高める。
- B 歯や口の健康から全身の健康へとつなぐ健康管理能力を育成する。

2 主な活動内容

A-(1)命を守る訓練

- ①4月(児童生徒, 職員予告あり)…地震発生から火災発生を想定し, 避難場所と避難経路の確認をしたり, 児童生徒の搜索訓練を実施したりした。
- ②9月(児童生徒予告なし)…悪天候により, 起震車体験のみ実施した。
- ③10月(児童生徒予告なし)…地震発生からの避難を想定し, 避難場所と避難経路の確認をしたり, トランシーバーを使用し, 児童生徒の搜索訓練と怪我人の救助訓練を実施した。



▲ トランシーバーや担架の  
使い方の確認

- (2)地震対応訓練 7月, 2月(児童生徒, 職員予告なし)…休み時間や昼休み時間に訓練を実施した。また, 廊下等での身を守る姿勢や机の下で身を守る姿勢の確認をした。

- (3)防災に関する取組 9月…各学部, 学年グループで, 紙芝居や絵本, DVD 等を活用して取り組んだ。また, 災害時に自分の命を守る方法(先生の指示を聞く, 身を守る姿勢をとる等)の確認をした。

(4)職員の取組

- ・携帯電話が使えないことを想定し, トランシーバーの使った連絡方法や非常持ち出し袋に入れる物品(児童生徒名簿, ラジオ, トランシーバー等)の確認。また, 消防署員より, 担架の使い方, 搬送の仕方, 電源が使えないことを想定し, 足踏み式吸引器を使った吸引の確認をした。

B-(1)定期健康診断

- ・学部ごとによる定期健康診断を実施したり, 健康診断日を3日間設け, 児童生徒の実態に合わせて検診場所や体勢を工夫したりした。

(2)集団的個別指導と個別指導の実施

- ・児童生徒の実態を考慮し, グループごとに集団的個別指導を実施した。
- ・模型を使用したブラッシング指導やカラーテスト, クイズを行い参加型の学習を行った。



▲ 定期健康診断

(3)家庭との連携

- ・長期休みに歯みがきカレンダーの取組を行い, 休み明けに保護者より取組の感想を記入してもらい, 連携を図った。また, 学校歯科医より個々の口腔状態に合ったアドバイスをもらい, 家庭でも意識して歯みがきができるように家庭にも伝えた。

子供たちに 付いた力	<p>A 実体験を繰り返すことにより, 身近な教師の指示を聞き, 落ち着いて行動できるようになったり, 緊急地震速報を聞き, 自分から身を守る姿勢をとることや, 机の下で身を守る姿勢を取ったりすること等ができるようになってきた。</p> <p>B 歯みがきの習慣が付き, 「仕上げみがきをお願いします。」等と, 児童自ら教師に声をかける姿が見られた。また, 歯から全身の健康につながるという意識をもつことができる児童生徒が増えてきた。</p>
効果	<p>A トランシーバーを使った搜索や救助等, 災害時の動きを確認することができた。また, 非常持ち出し袋に入れるべき物の確認を行い, 災害時に備えることができた。</p> <p>B 歯と口の健康の重要性を児童生徒や保護者が理解し, 早期治療や定期受診をできる児童生徒が増えてきた。</p>
今後の方向	<p>A 非常ベルの音や急な対応が苦手な児童生徒がおり, 今後も訓練を繰り返すことで慣れさせたり, 避難後の動きについて, 悪天候時の二次避難や保護者への引き渡しの動きを検討し実際の動きを想定した訓練を行ったりする必要がある。</p> <p>B 経年的な取組が習慣化や早期治療・受診につながるため, 今後も学校歯科医や家庭と連携して取組を行っていく。</p>